



感染症週報

(三宅管内感染症発生動向調査報告)



令和7(2025)年 第34週 (8/18 ~ 8/24)

三宅島 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) : 1件

御蔵島 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) : 1件

(三宅管内感染症発生動向調査より集計)



東京都の注目される定点把握対象疾患 << 東京都感染症週報 第33週 >>

・全体的に前週に比べ定点当たりの報告数は減少。医療機関の夏季休診が影響していると考えられます。

島しょの情報 (11島の医療機関からの報告) << 第34週 (8/18 ~ 8/24) >>

- ・感染性胃腸炎の医療機関あたりの報告数は、0.09で前週(0.55)より減少しています。
- ・新型コロナウイルス感染症の医療機関あたりの報告数は、3.82で前週(4.09)より減少しています。

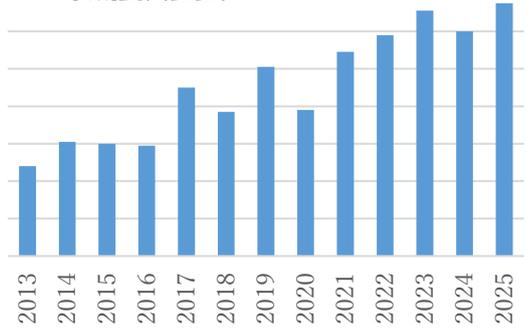
NEWS 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、過去最多を更新

先週、北海道から初めて SFTS の感染者が報告されたことをお伝えしました。全国の感染者数についても、過去最多記録を更新中です。SFTS は、原因となるウイルスを持つマダニにかまれることで感染しますが、SFTS を発症したネコやイヌからヒトに感染するケースも報告されています。

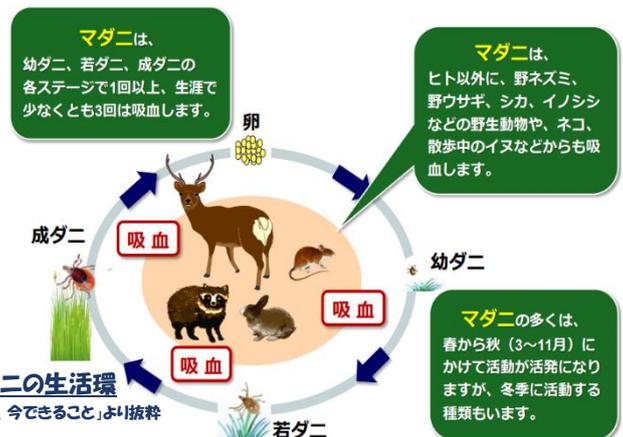
国立健康危機管理研究機構によると 2025 年の SFTS 発症報告数は 135 人(8月10日時点)。感染報告は全国 31 道府県に広がっており、高知(14人)、長崎・大分(各9人)、島根・熊本(各8人)、愛知・兵庫・山口・鹿児島(各7人)など、西日本に集中して多くなっています。関東地方でも茨城県でペットの猫から感染するなど、感染地域は、東日本へと拡大傾向にあります。また、SFTS 感染症報告全体の約 90%が 60 歳以上と高齢者が多く、死亡に至ったのは 10 人で年齢は 50 歳以上になります。

参考: 感染症発生動向調査(国立健康危機管理研究機構)、NHK NEWSWEB(NHK)

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)累計患者数 年次推移(全国)



※国立健康危機管理研究機構のデータを基に作成
2025年は1月から8月10日までの速報値



「マダニ対策、今できること」
(国立健康危機管理研究機構)



SFTS 症例の概要 2025年7/31 現在
(国立健康危機管理研究機構)

(編集・発行) 東京都島しょ保健所 三宅出張所
電話 04994-2-0181 FAX 04994-2-1009



<https://www.hokeniryu.metro.tokyo.lg.jp/tousyo/miyake/>

島しょ保健所三宅出張所管内 感染症発生動向調査

三宅出張所管内 定点把握対象疾患報告数

令和7(2025)年

第 34 週

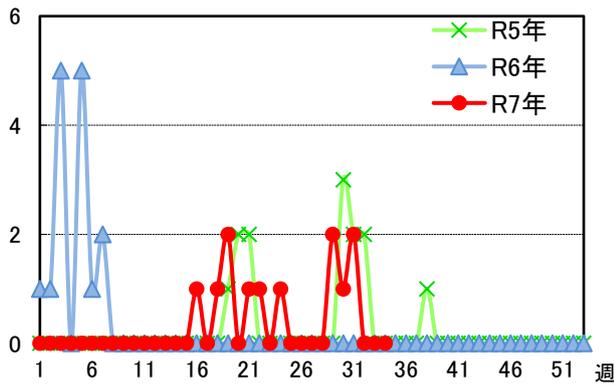
令和7年 8/18 ~ 8/24

疾病名 (小児科定点及びインフルエンザ /COVID-19定点)	令和7(2025)年						令和7 (2025)年 累計	東京都 定点あたり 33 週
	29 週	30 週	31 週	32 週	33 週	34 週		
RSウイルス感染症							0 (0)	0.64
咽頭結膜熱							0 (0)	0.22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎							0 (0)	1.05
感染性胃腸炎	2 (0)	1 (1)	2 (0)				12 (3)	3.37
水 痘							0 (0)	0.22
手足口病							0 (0)	0.39
伝染性紅斑							0 (0)	0.18
突発性発しん							0 (0)	0.27
ヘルパンギーナ				1 (0)			1 (0)	0.82
流行性耳下腺炎							0 (0)	0.04
MCLS(川崎病)							0 (0)	0.01
不明発しん症							0 (0)	0.16
インフルエンザ							58 (3)	0.24
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	7 (6)		1 (0)	2 (0)			54 (19)	3.61

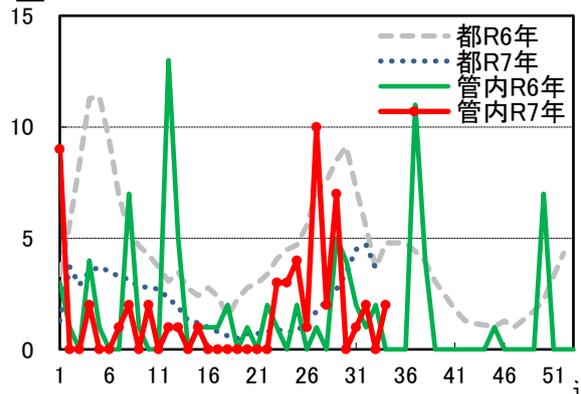
※カッコ内:御蔵島報告数の再掲

【三宅島出張所管内】患者報告数推移グラフ 管内は三宅・御蔵両島の発生数計
都は定点あたり発生数

■ 感染性胃腸炎



■ 新型コロナウイルス感染症



※5類感染症は、感染症発生動向調査を通じ皆さまに情報提供をすることにより、
感染症の発生および、まん延・拡大を防止することが目的です。

三宅管内の感染症発生状況は、新型コロナウイルス感染症が報告されています。
今後の患者報告数を注視し、油断せず状況に応じて、
部屋の換気・咳エチケット・手洗いの基本的な感染対策を続けてください。